

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-133	23-084	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
<b>題名 (原題/訳)</b>		
Nicotine and Alcohol Use as Predictors of Recreational Cannabis Use in Adolescence: A Systematic Review and Narrative Synthesis ニコチンとアルコールの使用は青少年の娯楽目的の大麻使用の予測因子となる：系統的レビューとナラティブレビュー		
<b>執筆者</b>		
Fingesi TS, Kimaru LJ, Okusanya BO, Ehiri JE, Rosales C.		
<b>掲載誌</b>		
Subst Use Misuse. 2024;59(9):1367-1382. doi: 10.1080/10826084.2024.2342008.		
<b>キーワード</b>		<b>PMID</b>
青少年、アルコール、ニコチン、コホート、娯楽用大麻、系統的レビュー		38658323
<b>要旨</b>		
<p><b>目的:</b> 青少年におけるニコチン、アルコール使用と娯楽目的の大麻使用との関連に関する系統的レビューを行った。</p> <p><b>方法:</b> 5つのデータベースを用い、2023年3月17日までに報告された青少年(10-19歳)を対象としたニコチン製品・アルコール使用と娯楽目的の大麻に関する論文を検索した。論文は、2人の研究者が独立してスクリーニングを行い、研究の質はニューカッスル・オタワとAXISツールにより評価した。</p> <p><b>結果:</b> 合計2,778,406人の青少年を対象とした21論文が抽出され、これら論文間に異質性を認めた。ニコチン製品の使用は、特に中期思春期の若者、あるいは娯楽目的の大麻使用が合法化されている地域で、将来の青少年の大麻使用と関連した。また、21論文のうち9論文で、アルコール使用と娯楽用大麻使用との関連が検討されており、うち8論文で正の関連が認められていた。</p> <p><b>結論:</b> ニコチン製品の使用およびアルコール使用は、その後の青少年の娯楽目的の大麻使用と関連する可能性が示唆された。</p>		